

令和 4 年 4 月 27 日

宮島で地域性種苗を活用した緑化に協力しました

広島大学大学院統合生命科学研究科附属宮島自然植物実験所は、広島県廿日市市宮島で実施された、地域性種苗を活用した緑化への協力をおこないました。

宮島の貴重な自然を守るため、文化庁から許可を得た上で、広島県の策定した保護管理計画に基づき、地域性種苗を利用した植樹を令和 4 年 3 月に実施しました。

今回利用したタネは宮島島内で許可を得て採集されたものです。また苗は、宮島自然植物実験所の指導のもと、宮島学園の児童・生徒と廿日市市宮島支所、宮島弥山を守る会などの方々が宮島で採集したタネから育てたものです。

3 月 16 日の緑化は、広島森林管理署の体験植樹として実施されたもので、廿日市市立宮島小中学校（宮島学園）の生徒が参加しました。こちらではアカガシやアラカシ、シロダモなどの樹種を用いました。

3 月 29 日の緑化は、平成 30 年 7 月豪雨の復旧に伴う道路付け替え工事に伴い、実施しました。こちらではアラカシやウラジロガシ、シリブカガシ、ウリハダカエデなどの樹種を用いました。

これらの活動は地域の生物多様性を守るとともに、防災・減災の観点から、平成 26 年から進めている事業の一環です。



地域性種苗の植えつけの様子
(2022 年 3 月 16 日)



地域性種苗の植えつけの様子
(2022 年 3 月 29 日)

【お問い合わせ先】

統合生命科学研究科
附属宮島自然植物実験所 坪田 博美・内田 慎治
TEL:0829-44-2025 FAX:0829-40-2001